

1. 基本情報

国名：メキシコ合衆国

案件名：女性事業者等向けマイクロファイナンス事業

Microfinance Project for Women-owned Businesses

融資契約締結日：2021年3月24日

借入人：Banco Compartamos S.A., Institución de Banca Múltiple（以下、「Compartamos社」という。）

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国におけるセクター開発の現状・課題及び本事業の位置付け

メキシコは、1人あたり GNI が 9,430 ドル（2019 年）と中進国以上の国と位置付けられており経済発展が進んでいるものの、一部の富裕層に富が集中しているため貧富の差が大きい（参考：ジニ係数 45.4%（2018 年）。絶対的貧困水準の比率 1.7%（2018 年）等）を見た場合、同国は人口が多いことから他中米諸国と比較すると類似比率であっても貧困層の絶対数は多く、貧困問題は依然深刻である。特に、南部のチアパス州、オアハカ州、ゲレーロ州、プエブラ州（以下、「最貧困州」という。）の人間開発指数は低く、0.71 前後と同国全体の 0.78 を下回る水準（出典：UNDP）。

メキシコ政府の「国家開発計画 2019-2024（2019 年 4 月発表）」のなかでは、メキシコ全土における平等且つ持続可能で均衡のとれた経済成長の実現に向けて包摂的な金融システムの発展を促すとしており、特に貧困層による金融アクセス改善を優先的に対応する必要性が示されている。同国では成人の 32%が金融サービスにアクセスできておらず最貧困州 4 州を含むメキシコ南部ではマイクロファイナンス機関（以下、「MFI」という）を含む金融機関の進出が他の地域ほど進んでおらず、同比率が 40%と特に高い（出典：世界銀行）。また、特徴として資産保有率が低く同国国内の生産人口の 70%を占める中小零細事業者あるいは女性事業者においてより顕著であると言われており（出典：世界銀行、メキシコ財務省）、とりわけクレジットサービス（出融資のサービス）を受けている成人男性の割合が 33%であるのに対し成人女性の同割合は 29%であるなど男女間格差が確認されている（出典：米州開発銀行）。また、メキシコからのアメリカ合衆国への移民の要因の一つとなっており、メキシコ政府は国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会が策定した「中米・メキシコ総合開発計画」（2019 年 5 月）に基づき、最貧困州を含めた貧困地域の開発に取り組むとしている。

本事業は、こうした状況下にあるメキシコにおいて、同国最大手 MFI である Compartamos 社によるマイクロファイナンス事業を支援するもの。同社は、全国

平均を下回る月収の顧客層をメインターゲットとしており、既存顧客の90%が女性事業者。現状では同社のマイクロファイナンス貸付残高の17%が最貧困州向けであるが、本事業ではそれを上回り JICA 融資額の最低40%を最貧困州向けとする計画。以上より、本事業を通じ、メキシコ政府も重視する最貧困州の中小零細事業者や女性事業者の金融アクセス改善に寄与することが見込まれる。

(2) 我が国及び JICA の協力量針と本事業の位置付け

我が国の「対メキシコ合衆国国別開発協力量針」（2014年4月）では、包摂国家の実現に向けた持続的成長への支援を基本方針とし、「産業振興」を重点分野に位置づけ、特に中小企業や裾野産業の振興に向けた協力を図るとしている。加えて、JICA は、当国の経済の高度化に伴い生じる社会課題への対応の一貫として、本事業を通じた低所得者に対する経済的自立支援を促進する考えである。また、本事業は、最貧困州の低所得者に対する経済的自立支援に寄与することを通じ、間接的に米国への移民抑制にも寄与することが期待されることから、「自由で開かれたインド太平洋構想」における経済的繁栄の追求に資するものである。

また、Compartamos 社の既存顧客の約90%が女性であり、本事業でも主要貸付先は女性事業者と見込まれるところ、我が国がコミットする 2X Challenge にも寄与する。

(3) 他の援助機関等の対応

本事業は、USDFC 及び Citi との協調融資。

3. 事業概要

(1) 事業目的：本事業は特に貧困率の高いチアパス州、オアハカ州、ゲレーロ州、プエブラ州を含むメキシコ全土において Compartamos 社が展開するマイクロファイナンス事業への融資を通じ、女性事業者を中心に中小零細事業者の金融アクセス改善を図り、以って同国の低所得者に対する経済的自立支援に寄与するもの。

(2) プロジェクトサイト／対象地域名：メキシコ全土

(3) 事業内容：本件融資は Compartamos 社によるメキシコ国内でのマイクロファイナンス事業向け貸付資金に充てられるとともに、同社によるマイクロファイナンス事業拡大の計画を支援する。JICA 融資50百万ドルのうち最低40%は最貧困州における事業に充てられる。

(4) 環境社会配慮・横断的事項・ジェンダー分類

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類：C

② カテゴリ分類の根拠：本事業は「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010年4月公布）上、本事業による環境への望ましくない影響は最小限と判断されるため。

2) ジェンダー分類：■GI (P) (女性を主な裨益とする案件)

<分類理由>本事業では女性事業者を主なターゲット層として事業を実施し、金融アクセス改善を通じた女性のエンパワーメントに資する取り組みであることから、女性を主な裨益対象とする案件に分類し、本案件を 2X チャレンジ案件として認定申請予定。

3) 横断的事項：特になし。

(5) その他特記事項

本事業は USDFC の保証スキームとの協調融資。

4. 事業効果

(1) 定量的効果

メキシコにおけるマイクロファイナンスの増加額及び顧客増加数、最貧困州での同増加額及び同増加数（うち、女性事業者向けの同増加額、同増加数を含む。）を測定する。

(2) 定性的効果

中小零細事業者（特に女性事業者）の所得向上

5. 前提条件・外部条件

特になし。

6. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

タイ王国「農業・農業協同組合を通じたツーステップローン」（円借款）の事後評価結果等において、事業の継続的な実施のためには、仲介金融機関の審査・リスク管理能力向上への支援が重要であるとの教訓を得ている。審査の結果、Compartamos社は15,128名の従業員、776支店を有し、メキシコ全域をカバーする画一的な審査・案件管理・リスク管理体制を採っていることが確認できた。1990年の創業以来、堅調に事業拡大しており、2020年決算はコロナの影響を受けるも、その審査・リスク管理能力に特段の懸念は無い。

7. 評価結果

本事業は、SDGsゴール1（貧困撲滅）、5（ジェンダー平等）、8（金融サービスへのアクセス改善）、9（金融アクセス拡大による産業化促進）、及びゴール17（パートナーシップ）に寄与すると考えられ、海外投融資を通じた支援の意義は大きい。

8. 今後の評価計画

(1) 今後の評価に用いる指標：4. のとおり。

(2) 今後の評価スケジュール：2024年12月決算（予定）

以上